

そら

栄区社会福祉保健ボランティア情報誌

発行 社会福祉法人横浜市栄区社会福祉協議会
 栄区桂町279-29 栄区福祉保健活動拠点内
 ☎：894-8521 FAX：892-8974
 E-mail：office@sakaeku-shakyo.jp
 URL：http://www.sakaeku-shakyo.jp

栄区承認番号89号

栄区ボランティアセンターは **あなたをお待ちしています!**



ボランティア
センターって
どんなところ?

ボランティアしたい人と、ボランティアを頼みたい人をつなぎます。

例えば・・・

- ・高齢なので庭の手入れが出来ない。
- ・障がいのある子どもと一緒に遊んでほしい。
- ・病院まで車で送迎してほしい。
- ・施設のイベントを手伝ってほしい。

といった依頼に対し、活動できるボランティアをお探しします。

ボランティア活動に関する相談を受け付けます。

例えば・・・

- ・ボランティアしたいけど、どんな活動がありますか?
- ・ボランティア保険に加入する方法は?

ボランティア活動に関する講座を開催しています。

- ・手話入門講座
- ・中学生対象サマーボランティア講座 など

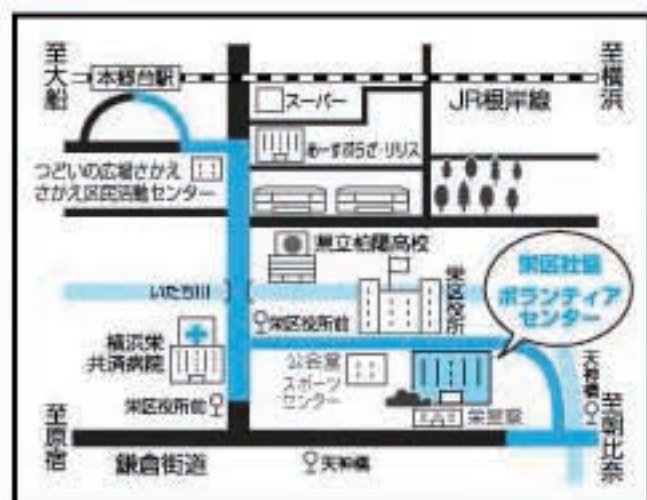
ボランティア情報誌「そら」の発行

年6回発行

- ・ボランティア活動をしたい人・依頼したい人への情報提供
- ・ボランティア募集やイベント情報など、地域交流のための情報提供

栄区社協のホームページにも、ボランティアに関する情報や、区内のボランティア団体の情報などが掲載されています。

<http://www.sakaeku-shakyo.jp>



ボランティアセンターの受付の様子

ボランティアセンターは活動したい人と依頼したい人の出会いをつなぎます

実際の活動の様子を紹介します

活動者と依頼者をつなぐコーディネートの流れ



活動事例紹介 Nさん

ボランティアセンターを通じて「10代の学生にパソコンを教えてくださいませんか」という依頼があったのは、平成16年の6月頃のことです。それまで私は個人の家に向って教えたことがなく、また、年寄りの例に漏れず「最近の若者は・・・」という偏見がありました。そうしたためにはありましたが、一度依頼者に出会ってから、引き受けるかどうかを決めようと思いました。

実際に会ってみて、私の感じていたことは全くの見当違いだと分かりました。依頼者は菜穂さんという16歳の車椅子の高校生で、前向きに将来を見据えていました。それに、活動を続けていくにはご家族の協力も見過ごすことができません。娘さんの将来を考えて、技術を身に付けさせたいというご家族の気持ちを考えると、私も気持ちを引き締めてゆかなくてはなりません。

私にとっても初めての経験でしたが、どうせやるならMOS*という公式なパソコン検定試験に、二人で挑戦することにしました。ほぼ週1回のペースで続けて1年後、彼女の頑張りでも「WORD部門」に合格することができました。以前は「結果よければそれでよし」という自分流の教習でしたが、正規の教本と一緒に勉強することは、私にとってもおおいに勉強になりました。検定試験にはたくさんのコースがありますが、「これから次の段階に向かって進んでいこう」と、誓い合いました。(N.T記)



自宅でのレッスンの様子

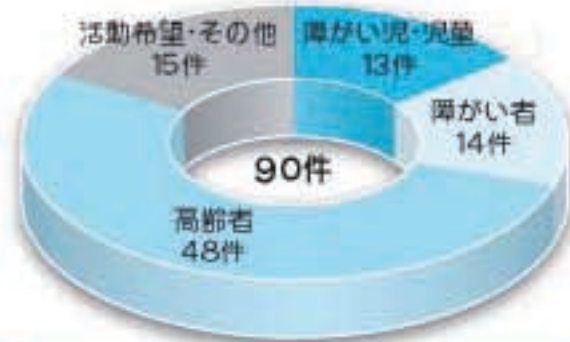
*：正式名称 マイクロソフトオフィススペシャリスト
マイクロソフト社が認定し、世界的に実施されている実技の検定試験です。
MOSの資格認定は、技術の水準の証明として就職の場などでも評価されています。

90件の依頼が
実現しました！

1年間にコーディネートしたボランティア活動を紹介します

(集計期間 平成18年10月1日～平成19年9月30日)

対象者別に依頼をみると・・・



高齢者からの依頼

物干し台の修繕をお願いしたい。簡単な作業なので業者は来てくれません。

結果 登録者Nさんに活動を依頼し、2時間程度の作業で修繕しました。依頼者から「愛着のある物を捨てずにすんだ。」と喜ばれました。

障がい児や児童を対象とした依頼

保育園での保護者の集まりの間に、子どもたちを楽しませてくれるボランティアはいませんか？

結果 登録グループのメンバーのTさんを紹介しました。1時間半にわたり、パネルシアターや手遊び、歌などを披露してくれました。Tさんも、「子どもたちと一緒に楽しみました。」とのこと。

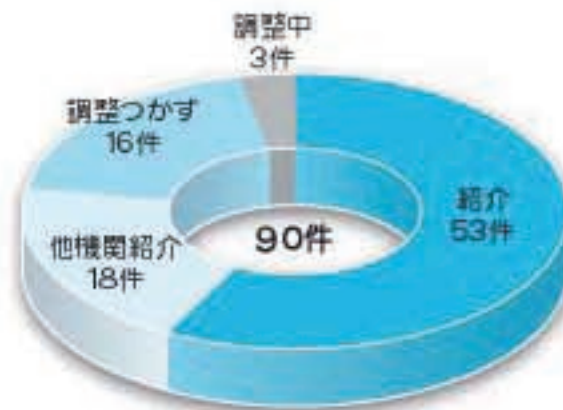
障がいのある方を対象とした依頼

福祉施設で入所者の衣類の縫いや、ボタンつけをしてくれるボランティアはいませんか？

結果 チラシや口コミで紹介したところ、引き受けてくれるKさん、Sさんが見つかり、新規の登録につながりました。月1回の活動を通じて、裁縫だけにとどまらない、ボランティアと施設との交流も大切にしています。

ボランティアセンターでは、この1年間に約640件の相談を受け付けました。その中で依頼を受けてコーディネートした活動をまとめました。

コーディネート結果別にみると・・・



紹介

53件のコーディネートが成立し、のべ198人のボランティアが活動しました。

他機関紹介

ボランティアでは対応できない依頼は、ボランティアセンターが集めている福祉情報を提供し、18件の依頼に対応できました。

調整中

現在もコーディネートが続いているケースが3件あります。これからも出会いをコーディネートできるように、調整を続けていきます。

調整つかず

連絡調整を行ったにもかかわらず、残念ながらボランティアでも他機関でも対応できなかったケースや、依頼者から取り下げが16件ありました。

ボランティア活動・地域活動の **はじめの一歩** を応援します



栄区ボランティアセンターの活動登録者数 (平成19年9月30日現在)
ボランティアグループ登録者：2,169人 (95団体)
個人登録者：169人

これまでボランティア活動や地域活動に縁のなかったあなたも、「定年を迎えて、これまで関わりがなかった自分の町のことを知りたい。」「子育てを終えてひと段落。外に出る機会を増やしたい。」と感じることはありませんか？「自分のために始めたことが人に喜ばれるなら、もっといい。」そんな風に思ったら、それがボランティア活動への第一歩です。

活動を始めるポイントを探します！



習字やグループに参加してみませんか？

まずは情報を集めることから始めてみましょう。自分の特技や趣味、健康づくりをきっかけに仲間が集まって、それが誰かに役立つボランティア活動へと発展することがあります。



気軽に立ちよれるところを見つけてみませんか？

お住まいの地域には、退職後の仲間づくりの会、世代交流などのサロン、福祉施設の交流イベントなどが催されています。まずは気軽に参加してみてください。ちょっとしたお手伝いが、ボランティアとして頼りにされるきっかけになることがあります。



誰かのためだけでなく、自分自身のために活動してみませんか？

「自分もいずれお世話になるかもしれない、元気なうちに人の役に立ちたいと思って。」というお互いの気持ちや、「活動で得られた福祉の知識は、自分の今後にも役立つそう。」「依頼者に“ありがとう”と喜ばれ、逆に元気をもらっています。」という発見や感激もあるようです。

気負うことなく楽しんで活動すること、人とのつながりを通してやりがいを感じることも、ボランティア活動の醍醐味といえそうですね。ボランティアセンターでは、はじめの一歩に役立ついろいろな情報を集めて、あなたをお待ちしています！お気軽にお立ちよりください。

ボランティア活動の リスク

依頼者の役に立ちたいという気持ちから、いろいろと引き受けて無理をしてしまうことがあります。そうした活動は長続きしないだけでなく、トラブルにつながることもあります。できること、できないことをきちんと伝え、時には断る勇気も大切です。

また、活動中や行き帰りの事故に備えて、ボランティア活動保険*の加入をお勧めしています。

リスクへの心がまえ、備えを忘れずに、困ったこと、分からないことは一人で抱え込まず、ボランティアセンターにご相談ください。

*：ボランティアセンターの窓口では「全国社会福祉協議会ボランティア活動保険」の加入を受け付けています。

ボランティア活動のご相談はこちら

横浜市栄区社会福祉協議会
ボランティアセンター
TEL 045-894-8521
FAX 045-892-8974
受付：毎日(年末年始除く) 9:00~17:00

お近くの地域ケアプラザでもボランティアに 関する相談を受け付けています

笠間地域ケアプラザ	890-0800
桂台地域ケアプラザ	897-1111
小菅ヶ谷地域ケアプラザ	896-0471
豊田地域ケアプラザ	864-5144
中野地域ケアプラザ	896-0711